

一	宮	市									
ウ	オ	ー	カ	ブ	ル	空	間	デ	ザ	イ	ン
プ	ロ	ジ	エ	ク	ト						

まちなかDX プロポーザル説明資料 2022.05

一 宮 市

■ 概要

ウォーカブル空間デザインプロジェクト2022
 (まちなかDX) C=23,647千円

公共空間の空き・混雑状況の可視化や人流把握などによるまちなかのDXを進め、その情報をWEBやデジタルサイネージにより、広く・早く、市民や来街者へ周知し、感染機会を削減する

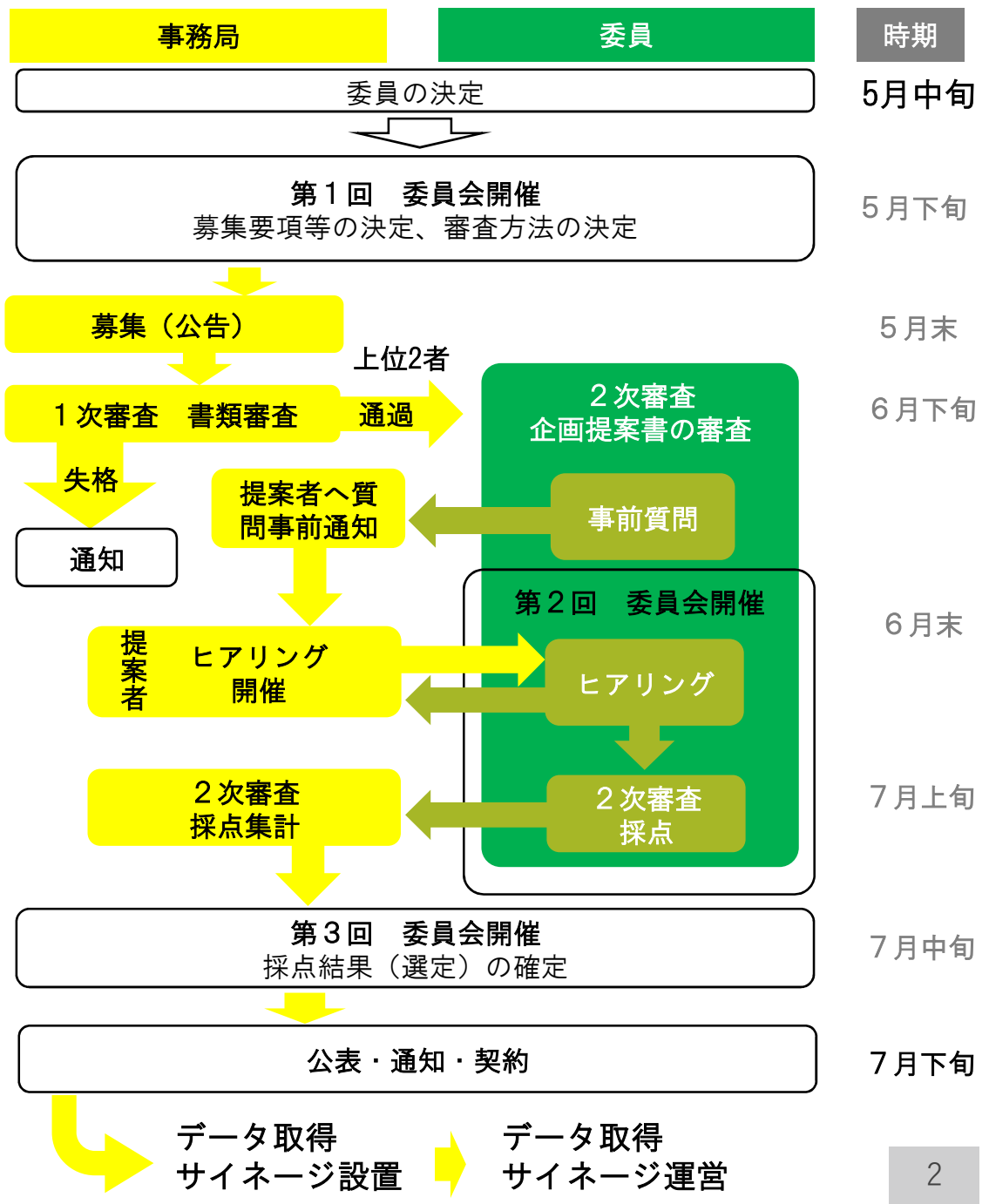
■ 審査委員

- 管理関連 : 維持課、道水路管理課
- 広告関連 : 公園緑地課、行政課
- 利活用関連 : 広報課、観光交流課
危機管理課、政策課
- デジタル関連 : デジタル推進室
- コロナ関連 : 保健予防課
- 担当課 : 都市計画課

■ 審査方法

- 1次審査：書類審査
 →提出書類について審査
 →上位2者を選定
- 2次審査：企画提案審査
 →提案企画に対して審査

■ スケジュール・フロー



■ 提案募集内容（抄）

① まちなかDX

- ・ 公共施設/空間の空き・混雑状況の可視化や人流把握などにより、デジタル技術を利用し、人が主役となるようなまちなかとなるための基礎データ収集をする
- ・ データ取得におけるカメラ、センサー、スマートポール等の設置やアプリ制作など、種別や数は問わない
- ・ 取得データは、原則オープンデータ化する

② デジタルサイネージ設置

- ・ 最も効果の高い製品かつ設置位置とし、数は問わない
- ・ エリアマネジメントに活用できる製品とする
- ・ 有料広告が掲載できる製品とする
- ・ インターネットを活用し、リアルタイム配信ができる製品とする
- ・ R4.10に実施する社会実験までに設置を希望

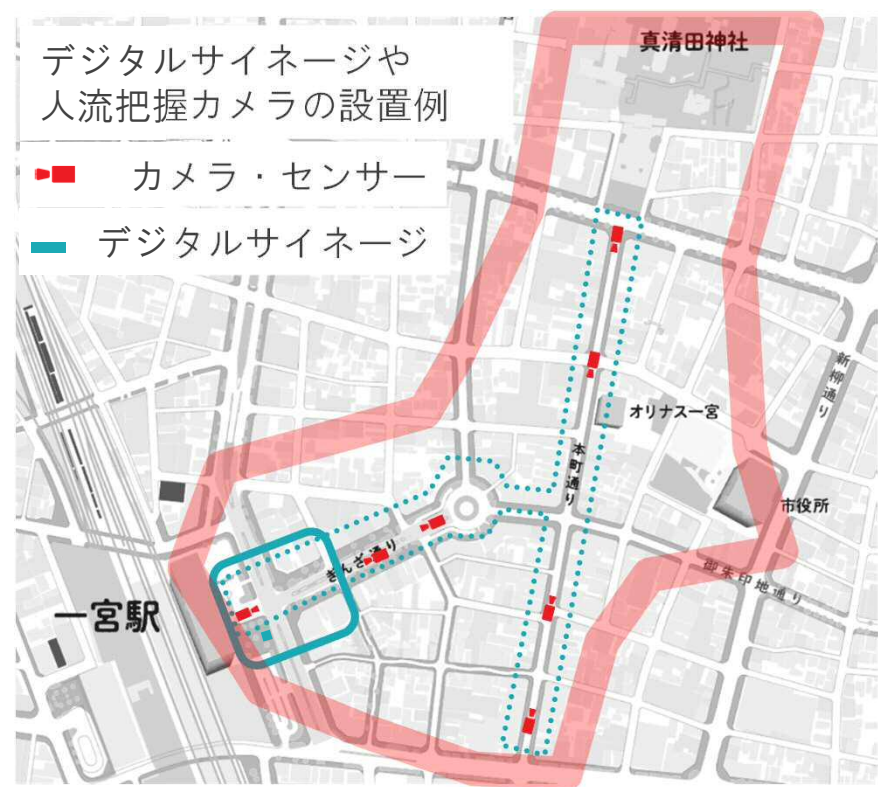
③ デジタルサイネージ運営

- ・ コロナ、市政情報、エリア案内などの情報やコンテンツを制作し、発信する
- ・ 有料広告のニーズ調査を行う
- ・ エリアマネジメント広告の運営方法、仕組みづくり素案を構築する

④ 自由提案

■ 注意事項

- ・ 官民連携事業を主眼とする内容にすること
- ・ まちなかDXのためのデータ取得や調査、デジタルサイネージ設置、運営に関する一切の費用を含む
- ・ 市が保有するデータの公開は、可能な範囲で公開する



- デジタルサイネージ設置エリア（必須）
- ⋯ デジタルサイネージ設置提案可能エリア（自由提案）
- カメラ設置提案可能位置（自由提案）

■ 駅周辺のデータ *参考

① 取得したデータ *データは一部非公開

(KDDI Location Analyzer) *継続予定

携帯電話GPSデータから交通量を取得しており、得られたサンプルから取得率を考慮して推計された値

(BriefCam) *継続予定

iビル上階から銀座通りに向けて撮影された映像から画像認識技術で取得し、銀座通り歩道部の断面をまたいだ歩行者数をカウントした値

(ソーシャルディスタンスカメラ) *未定

銀座通りの照明柱に設置されたカメラから30秒ごとに撮影した画像から人物をAIにより認識したものであり、撮影ごとに認識した人数の合計値

(Beacon) *未定

設置したBeacon端末付近を通過するスマートフォン (BluetoothまたはWi-Fi ON) を検知し蓄積された値

② 取得したいデータ

○ 商機会を誘発できるようなデータ

- ・ まちなかに来る人の属性 (年代、性別など)
- ・ どこから来訪するのか
- ・ どのくらいの滞在時間があるのか
- ・ 近隣居住者の行動動態 (どこに買い物行くのか等)

○ まちなかを使いやすくするためのデータ

- ・ 駐車場 (市営・民間)、バス・タクシーの混雑状況のリアルタイム把握
- ・ 来訪者の交通手段
- ・ 駅を利用する人の行動分析
- ・ 市内周遊、観光動態

○ その他

- ・ 未来シミュレーションが行えるデータ
- ・ XRが実施できるようなデータ
- ・ 若年層 (30代以下) に魅力的に感じてもらえるような取り組みに資するデータ

■ 注意事項

- ・ 各管理者や地元等との調整はしていません
*可能性検証も行っていない
- ・ 先進的かつ独創的なデータを求めます

■ 想定するまちなかDXとデジタルサイネージの連携類似事例

○岡崎市

スマートシティPJTでは
 通行人属性把握、人流把握に活用



弊社社員によるテストの様子（撮影：株式会社Will Smart）

■ 岡崎市のスマートシティプロジェクトとソリューション導入の概要について

2020年7月に国土交通省が推進するスマートシティ先行モデルプロジェクトに、岡崎市の「スマートシティ実現で増幅するエリアの引力」が採用されました。足元の取り組みとして通行人属性推定や人流導線把握があり、そのうちの1つに「デジタルサイネージの視認効果検証」が設定されました。

- ・ 目的：デジタルサイネージによる情報配信の効果検証（設定したターゲットへのリーチ効果）
- ・ 期間：2020年11月21日～2021年3月31日
- ・ 場所：愛知県岡崎市の籠田公園内の2箇所
- ・ コンテンツ：イベント時の混雑状況、地域イベントの予告 など
- ・ Will Smartの提供範囲：デジタルサイネージに関するハードウェアおよびソフトウェア、AIカメラに関するハードウェアおよびソフトウェア、その他設置等の役割

出典：WILL SMART WEB

○FUJITSU

スマートデバイスと連携させ、目的地をセンシングサイネージ上に表示し、エリア回遊を促進

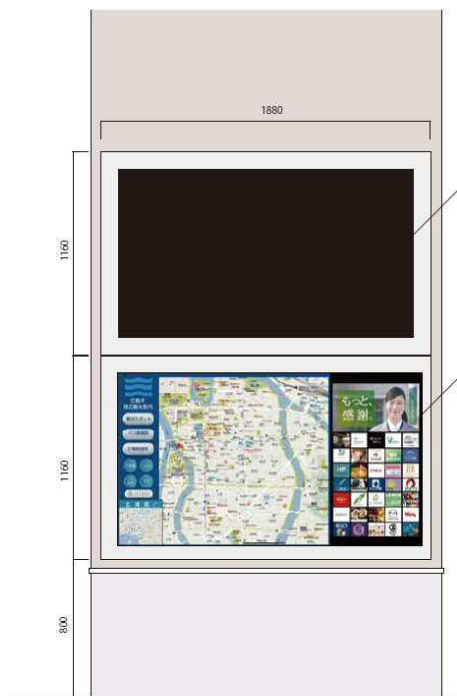


出典：FUJITSU WEB

○その他

- ・ VR, AR, XRの活用
- ・ e-スポーツ
- ・ クーポン配信
- など

■ 想定するデジタルサイネージのイメージ、類似事例



壁面設置設置例
75インチ×2面
駅前広場 EV棟想定



出典：上尾市WEB

独立設置例 75インチ
コロナ情報
上尾市



出典：栄ミナミ屋外広告物ガイドライン

独立設置
49インチ×2面
タッチモニター式
デジタルマップ
多言語対応
まちづくり協議会会員情報と広告モニターを併設
FreeWi-Fi内蔵
名古屋市



出典：国交省WEB

変圧器上設置
区からのお知らせやイベント情報
緊急情報（災害、不審者情報）
多言語対応
交通情報（鉄道）
商業広告
USB充電2口
維持管理は広告収入により民間事業者
東京都港区

■ 想定するデジタルサイネージ運営（エリアマネジメント広告）のイメージ、類似事例

- ・まちづくりの担い手が、景観向上のためのルールに基づき、公道上並びに民有地の屋外広告を企業に販売し、得られた広告収入をエリアマネジメント（地域課題解決や地域価値向上）の財源に充てる事業
- ・掲出する広告物、デザイン、審査などのルールづくりやガイドライン・WEBの作成など、エリアマネジメント広告を行うために必要な項目の基礎的な検討を行い、ルールづくりに向けた素案を作成する

将来的なガイドラインやWEBのイメージ



出典：栄ミナミWEB



出典：札幌まちづくり会社WEB

■ 駅周辺の案内看板等の設置状況及び現況



- 屋内デジタルサイネージ 5箇所
- 屋外案内看板 4箇所
- 路上変圧器等 9箇所

■ 想定する関連法規など

○設置場所に関すること

- ・道路法（道路占用）：道水路管理課
- ・道路交通法（道路使用）：愛知県警

○広告に関すること

- ・一宮市屋外広告物条例：公園緑地課
- ・一宮市有料広告要綱：行政課

○施設管理に関すること

- ・自走式立体駐車場以外の市営駐車場：都市計画課
- ・自走式立体駐車場：資産経営課
- ・i-ビル：指定管理課
- ・道路照明灯：維持課
- ・駅前広場：JR
- ・商店街アーケード：一宮市本町商店街

○デジタルサイネージに関すること：一社デジタルサイネージコンソーシアム

- ・デジタルサイネージ標準システム相互運用ガイドライン
- ・災害・緊急時におけるデジタルサイネージ運用ガイドライン
- ・アテンドサイネージガイドライン
- ・デジタルサイネージ災害コンテンツガイドライン
- ・センシングサイネージガイドライン
- ・オーディエンスメジャメントガイドライン

■ 注意事項

- ・必要な事項については、各自でご確認・ご判断ください
- ・各管理者が判断する設置の可否など個別の提案内容については回答することはできません

■ 関連事業（参考）

- ウォーカーブル空間デザインプロジェクト2021（社会実験運営支援・効果検証業務）
 - ・受託者：NE・ENGAWA・AMBIENT共同企業体（NEAコンソーシアム）
大日本コンサルタント株式会社 中部支社 御中
特定非営利活動法人まちの縁側育くみ隊 御中
ambientdesigns
 - ＊R2プロポーザルにより決定、R3随意契約
 - ・内 容：R4.10頃に実施予定である社会実験の実施運営支援
社会実験時に取得する各種データ取得、検証、分析

- ウォーカーブル空間デザインプロジェクト2022（社会実験運営）
 - ・受託者：特定非営利活動法人志民連いちのみや
 - ＊R3.3都市再生推進法人に一宮市として初めての指定
 - ・内 容：R4.10頃に実施予定である社会実験の実施運営支援

- ウォーカーブル空間デザインプロジェクト2022（未来ビジョン策定支援）
 - ・受託者：NE・ENGAWA・AMBIENT共同企業体（NEAコンソーシアム）
 - ＊R2プロポーザルにより決定、R3随意契約、R4随意契約
 - ・内 容：本事業エリアに関する協議体（エリアプラットフォーム）の設立
本事業エリアの目指すべき将来像（未来ビジョン）の構築
目指すべき将来像を話あうワークショップ等の実施

- ウォーカーブル空間デザインプロジェクト2022（プロジェクトPR制作業務）
 - ・受託者：NE・ENGAWA・AMBIENT共同企業体（NEAコンソーシアム）
 - ＊R2プロポーザルにより決定、R3随意契約、R4随意契約
 - ・内 容：本事業エリアに関するプロモーション制作
本事業エリアに関するエリアマップの作成